

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

山梨県 西桂町

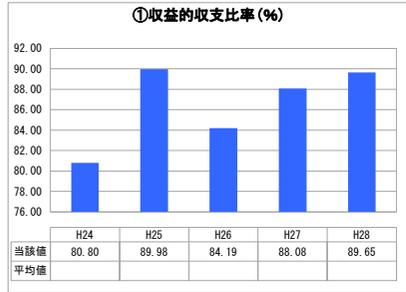
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	52.72	100.00	2,050

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,460	15.22	293.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,346	0.69	3,400.00

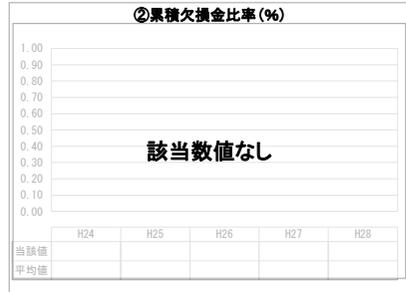
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

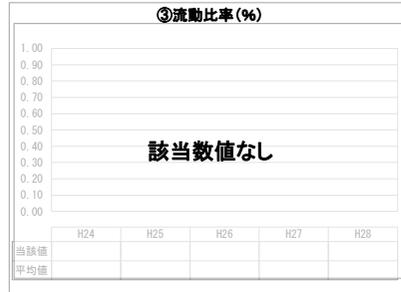
## 1. 経営の健全性・効率性



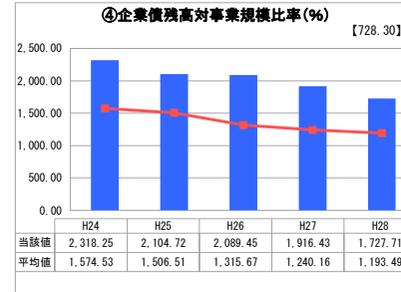
「単年度の収支」



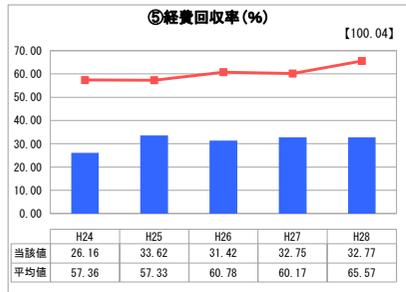
「累積欠損」



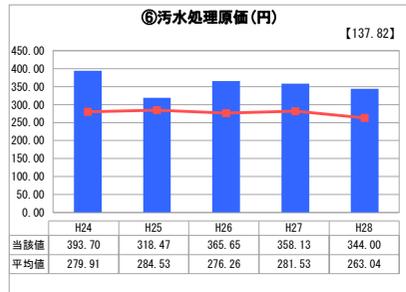
「支払能力」



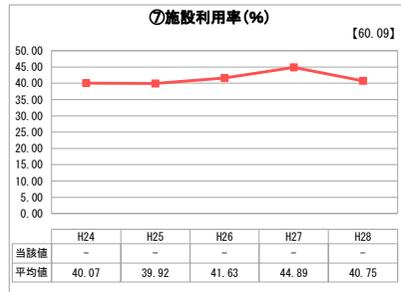
「債務残高」



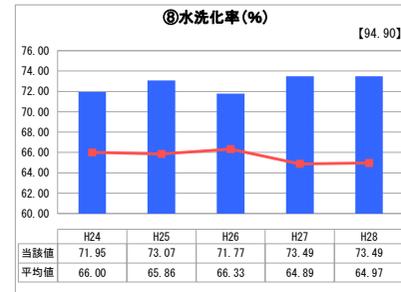
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

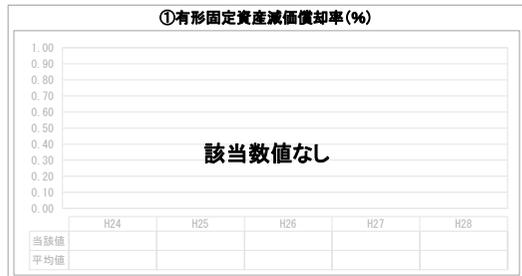


「施設の効率性」

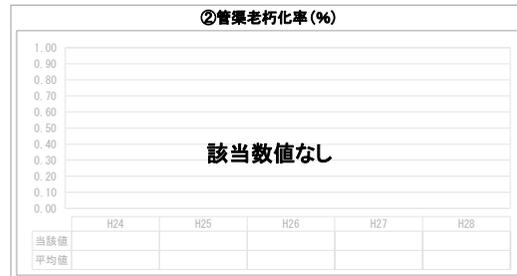


「使用料対象の捕捉」

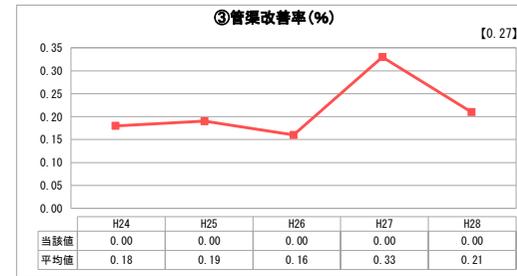
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支率が100%を割り込んでおり、経営上赤字であり、料金収入が収支全体の1割程度にとどまり、大半を一般会計繰入金に頼る状況で、今後十数年は、同じ状況が続く経営の健全化までは程遠いと思われる。
- ・収益的収支率が低く、一般会計繰入金に頼る状況にある。経費回収率が類似団体と比較しても低い水準であるため、適正な使用料の確保や汚水処理費の削減に取り組み、経営改善を図っていく。

### 2. 老朽化の状況について

- ・比較的施設が新しく、当面更新・改良の予定はないが、将来の更新投資を見据え、計画的な維持改修に取り組んでいく。

### 全体総括

- ・施設は新しいが、経費回収率が低く、整備した施設が現状では適切な水準の料金収入に結びついていない、さらに普及率も53.0%と道半ばであるため、今後の投資のあり方をみなおす必要がある。
- ・経営改善に向け、経費回収率の向上を目指し、使用料の見直しなど、適正な使用料の確保に努める。また、接続率の向上や今後の更新投資のあり方を検討し、引き続き経営改善に取り組んでいく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。